

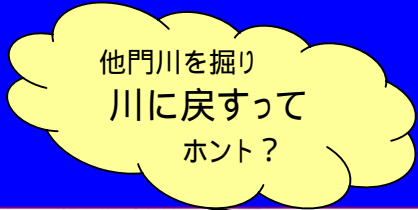
「水辺の再生によるまちづくり」

主催：新潟県教育委員会

共催：NPO 法人 新潟水辺の会

日時：平成16年12月4日(土) 12:45 開場、13:00~16:00

場所：県立生涯学習推進センター（県立図書館併設・鳥屋野潟湖畔）



プログラム

- 13:00 水辺の会活動の回想ビデオ 加藤 功 世話人
平成16年度水辺賞授与 受賞者・大形小学校生徒
川の歌演奏と合唱 森本 利 世話人
- 13:30 開会進行 遠藤 由美(県立生涯学習推進センター社会教育主事)
開会挨拶 大熊 孝(新潟大学教授・新潟水辺の会会長)
ソウル・清溪川視察報告
陣内 洋一郎(新潟大学大学院・河川研究室・Mr.1年生)
東京・日本橋の首都高速道路の撤去の可能性について
佐藤 誠(新潟大学大学院・河川研究室・Mr.2年生)
新潟島・他門川再生ビジョン
上山 寛(上山アトリエ・新潟水辺の会世話人)
川の自然復元と堀割再生について
島谷 幸宏(九州大学大学院教授)
新潟の堀割再生の実現に向けて
篠田 昭(新潟市長)
大討論 水辺の再生による『まちづくり』
コーディネーター 大熊 孝
島谷氏、篠田市長ほか 加治川ネット、堀割再生実行委員会、
信濃川ウォーターシャトル、通船川ルネッサンス
一般質疑
閉会挨拶 岩田 忠満(県立生涯学習推進センター長)



他門川復元構想 1990 上山寛氏提案

REINCARNATION TAMOGAWA 1990年制作



ソウル市清溪川復元 2004 工事中



清溪川工事イノベーションセンター

【趣旨】水辺は都市にうるおいを与える重要な要素です。各地で水辺の再生による『まちづくり』が行われています。ソウルでは高速道路で覆われた清溪川(チョンゲチョン)の再生工事、自動車交通より環境を優先する形で、今進んでいます。日本でも東京・日本橋の上を走る首都高速道路の撤去が話題に上り始めています。新潟では、かつて縦横に走っていた堀割が高度経済成長時代にすべて埋め立てられ道路化されました。この堀割を復活できるか、考えてみましょう。

今年の、新潟水辺の会の定例水辺シンポジウムは、新潟県教育委員会が主催する「にいがた連携公開講座」の一環として行うことになりました。このシンポジウムは、テレビ会議システムを利用して、主会場の県立生涯学習推進センターと受信会場である加治川村中央公民館とを結んで、双方向で質問などのやり取りを行います。

交流会・忘年会予定

新潟会館 4000円・バス送迎付、17:00から



新潟県立生涯学習推進センター
〒950-8602 新潟県新潟市女池南3-1-2
TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019 Email: nipc@mail.lalanet.gr.jp



問い合わせ
NPO法人 新潟水辺の会 寺村まで
TEL:025-264-3191
TEL:090-3213-8620
Email: jun_teramura@niigata-mizubenokai.or.jp